

政負担や制度の継続性の観点から、検討してまいります。事業所に対する支援については、それぞれの運営状況等を調査しながら検討してまいります。

質問 ワーキングプアー問題と雇用対策について伺います。

ワーキングプアーとは、どんなに働いても貧困から抜け出せない人たちのことで、働く青年の2人に1人が非正規雇用労働者だといわれています。市としても正規雇用を拡大させる取組が必要だと考えますが、見解を伺います。

市長 企業訪問をした際に正社員の採用拡大のお願いをしました。が、すでに派遣社員の中から積極的に採用している企業もありました。また、お盆前には関東自動車を訪問し、正社員の採用の拡大をお願いしたところです。今後も引き続き、機会を捉えて積極的に働きかけて参ります。

○福祉行政について
○一般行政について
○教育行政について



よしお 菊池 市長
さくち 議員

質問 障害者自立支援法の施行

により、現場は悲鳴を上げておりますが対応策の程は。更には障害者実雇用率をお尋ねします。



パソコン学習に取り組む子ども達

市長 実雇用率は県平均、全国平均を下回ってます。当市も会員となつて胆江地区障害者雇用促進協議会が中心となり「障害者をもつと働ける社会」を目指しており、又、来年度策定予定の奥州市障害者福祉計画に重要課題の一つと位置づけた。尚、地域生活支援事業については現行水準を維持できる様配慮します。

質問 少子化による人口対策について、問題は若者の定住、雇用の場の確保と思いますが対策の一端をお尋ねします。

市長 少子化は全国的な事ではあります。ご指摘の通り企業誘

致にはより積極的に取り組むと共に、あらゆる部署で対策を講じます。

質問 教育現場の再確認と近代情報化社会が青少年に与える影響に対する指導についてお尋ねします。

教育委員長 いじめ、不登校、教員の不祥事等、連日の報道には憂慮しております。当委員会としては、家庭や地域はもとより、関係する全ての方々と連携をとりながら万全を期して参ります。情報化社会に対する生徒指導は、各学校にコンピューターを導入しておりますが、情報処理のあり方、又、情報モラル等、徹底した指導を行います。が、学校だけでは対応出来ない面もありますので、子供達が加害者や被害者にならない様に、指導を、より強化して参ります。

新市建設計画について
体育施設等の利用について



ひろし 近郷 市長
うこん 議員

質問 私は平成15年より、子供から高齢者までが集う、市民の「相談や交流の場」として「安心して暮らせるまちづくり」の中核施設に成り得る包括的福祉機能

持った保健福祉市民センターの建設を促してまいりましたが、水沢区における「新市建設計画実施計画の見直し」の説明において、現在の水沢区分の計画では建設は行わないとの考えがある事が示されました。市長自身のマニフェストにも盛り込んである建設計画の変更について、お考えを伺います。

市長 現時点では当初の計画に盛り込まれていた保健福祉市民センターの機能の大部分がメイプル地下等に整備されたことから、本年度、総合計画の策定及び新市建設計画の見直しに併せ、その施設整備事業の見直しを進めているところです。また、水沢区だけのものではないのか議論があるので検討を進めてまいります。

質問 今後の奥州市全体事業として取り組む事業はどのようにして判断されるのか、お伺いします。

市長 各区の財源は厳しく、計画の見直しではどうしても収まりきれないものがあると思います。市に必要なものは財源を確保していきながら対応していかなくてはならないと思います。

質問 体育施設等、市の施設の開放時間は概ね夜9時までとなっておりますが、他市の施設では年中無休や24時間開館といった市民